

## 「仙台市スポーツに関する意識調査」の結果について

## 1. アンケート結果要旨

設問	結果
問 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツが「好き」の割合が低下</li> <li>・女性の「嫌い」の率が 23.3%と男性よりも高い</li> </ul>
問 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの観戦が「好き」の割合が低下</li> <li>・女性の「嫌い」の率が 19.5%と男性よりも高い</li> </ul>
問 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの実施率が低下</li> <li>・働く世代（30～40代）の低下が目立っている</li> </ul>
問 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢が上がるにつれ、健康保持増進のために実施する率が高くなっている</li> <li>・若年層（～20代）では「仲間との交流の場」としてのスポーツ実施率が高い</li> </ul>
問 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを「ひとりで」行う人が増えている</li> <li>・「職場の人」や「友人」と行う男性に比べ、女性は「家族」や「クラブ等の仲間」と行うことが多い</li> </ul>
問 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「時間がない」「疲れる」意見以上に、「機会がない」の割合が非常に高い</li> <li>・「子育てに忙しい」の回答も高くなっている</li> </ul>
問 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングやジムトレーニング、ヨガが上位</li> <li>・その特徴として、①競技スポーツではなく、健康維持体力増進につながるスポーツである、②自ら用具を揃えなくとも手軽に始められる、③一人でも始められるが挙げられる</li> </ul>
問 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市・地域主催のスポーツ行事への参加率が 22.8%と低下している</li> </ul>
問 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その理由として「知らなかった」が 50%を超えている</li> </ul>
問 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの認知度は横ばいの 10%程度にとどまっている</li> </ul>
問 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの関心も 33.8%と前回よりも低下している</li> </ul>
問 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若干ではあるが、問 10 と関連して男性よりも女性の方がスポーツクラブへの参加意欲が高い</li> </ul>
問 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が足りないと感じる理由は「身近にない」が 6割を超えている</li> </ul>
問 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直近 1年間でスポーツ観戦したことがある人は、44.6%と前回から微減</li> </ul>
問 33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観戦実績よりも今後観たいスポーツは、テニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、体操、スケートといったプロスポーツ球団のない種目が多くなっている</li> </ul>
問 34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツボランティア活動への参加割合が低下している</li> <li>・特に宮城野区、若林区での低下が著しい</li> </ul>
問 38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60歳以上のボランティア意欲が低い</li> </ul>
問 40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やテレビといったメディアやインターネットからスポーツの情報を得る人が増え、知人や友人から得る人は少なくなっている</li> </ul>
問 41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会やイベントの情報を知りたい人が増えている</li> </ul>

問 4 4	・テレビで観戦したい、会場に行って観戦したいを合計すると 97.5%となり、ほとんどの人が観戦意欲を持っている
問 4 6	・「健康づくり」「生きがいづくり」が大きく占めているが、地域コミュニティの形成や世代間交流の促進につながると感じている人も増えている
問 4 7	・前回同様「身近に」「気軽に」スポーツに親しむ環境整備が求められている

## 2. 計画の推進にあたっての数値目標

- (1) 15 歳以上の市民のうち、50%が週 1 回以上運動やスポーツを行うことを目指します。

H22	(目標)	H28(前回比)
36.4%	50.0%	<b>31.1%(△5.3ポイント)</b>

- (2) 15 歳以上の市民のうち、40%が市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事に参加することを目指します。

H22	(目標)	H28(前回比)
33.8%	40.0%	<b>22.8%(△11.0ポイント)</b>

- (3) 15 歳以上の市民のうち、60%が年 1 回以上競技場でスポーツ観戦することを目指します。

H22	(目標)	H28(前回比)
47.2%	60.0%	<b>44.6%(△2.6ポイント)</b>

- (4) 15 歳以上の市民のうち、10%がスポーツボランティアなどの協力活動を経験できる環境づくりを目指します。

H22	(目標)	H28(前回比)
5.5%	10.0%	<b>2.9%(△2.6ポイント)</b>

- (5) 仙台市立の小学校の児童（5年生）のうち、60%が週 3 回以上運動やスポーツを行うことを目指します。

H22	(目標)	H28
48.0% (男 64.9%、女 38.9%)	60.0%	- %(調査中) (男 74.1%、女 51.7%)

- (6) スポーツの全国大会並びに国際大会を年 8 回以上開催することを目指します。  
(仙台市が主催・共催している全国大会、国際大会の数を指しています)

H22	(目標)	H28※
年 5 回	年 8 回	年 5 回(±0ポイント)